

部活動の地域移行計画は生徒ファーストで



新政府
あかはね
赤羽 せいじ
誠治

その他の
質問事項

- ▼ 旧農業公園チロルの森の利活用案について
- ▼ 剪定木等のゴミ収集方法について

◆部活動の地域移行計画
問 国は休日の部活動を令和7年度末までに地域移行する方向だが、令和5年度からの推進計画の内容や状況が分からず、市の対応に不満を漏らす保護者や指導者がいる。市の計画をどのように作成するのか。
答 種目ごとに、既存の民間スポーツクラブへの参加、また、新たに地域スポーツクラブを立ち上げる等の「移行パターン」を検討するため、生徒や保護者の希望と地域のスポーツクラブ等の状況を勘案し、移行パターンを選択するため令和5年度に立ち上げる各協議会で慎重に検討していく。
 (教育総務課)



部活動の様子

◆農業資材高騰への支援
問 エネルギー価格の上昇や円安、ウクライナ情勢などの影響により農業資材、燃料等の価格が急騰している。影響を受けている農家支援はどうするのか。
答 国と県の行う「肥料価格高騰緊急対策事業」と連携した市独自の補助について、価格上昇分に可能な限り近い金額の支援ができるよう、令和5年度で予算措置するため調整をしている。
 (農林課)

◆要望 農薬費、動力光熱費、飼料費など肥料以外の資材費についても支援の充実を図って欲しい。

子育てと学びの支援について



明政会
いし
石井 つとむ
勉

その他の
質問事項

- ▼ 経済振興策について
- ▼ 地域づくりについて

◆ICT教育の推進
問 教職員側の感触とICT支援員について。
答 学校側の創意工夫によりICTを活用した授業が進められているが、学校間で差が生じている。ICT支援員の効果的な派遣、機器の活用方法や教材づくりなどの支援を充実させていく。
 (教育総務課)



子どもたちの自動運転システム体験

◆子育て世代の支援
問 塩尻市政タウンミーティングにおいて市長への要望が手紙で渡された。内容の共有と対応について。
答 不登校に対する支援への感謝と要望であり、これを受け令和5年度からの実施を検討していた保護者の情報交換の場づくりを、12月12日に行った。今後も支え合える関係づくりを目指していきたい。
 (市長)

◆事業承継の現状と対策
問 高齢化と後継者不足、商店街検討委員会の設置、次世代への魅力づくりは。
答 県との連携を塩尻商工会議所と進めている。活性化検討の場を新たに設け、時代に合わせた役割についても検討していく。高校生起業家育成プログラム事業では起業の選択肢を示し、関心を高めながらキャリア選択の幅を広げること、市の関係人口の創出を図っている。未来を担う若い世代との接点を深める取り組みを継続的に実施していく。
 (産業政策課)